

断熱先進地 北海道から火災に強い木造外壁の提案

木材を外装材に用いて「防火構造」の大臣認定を取得できる木造高断熱外壁を開発しました。



木材を外装材に用いた住宅

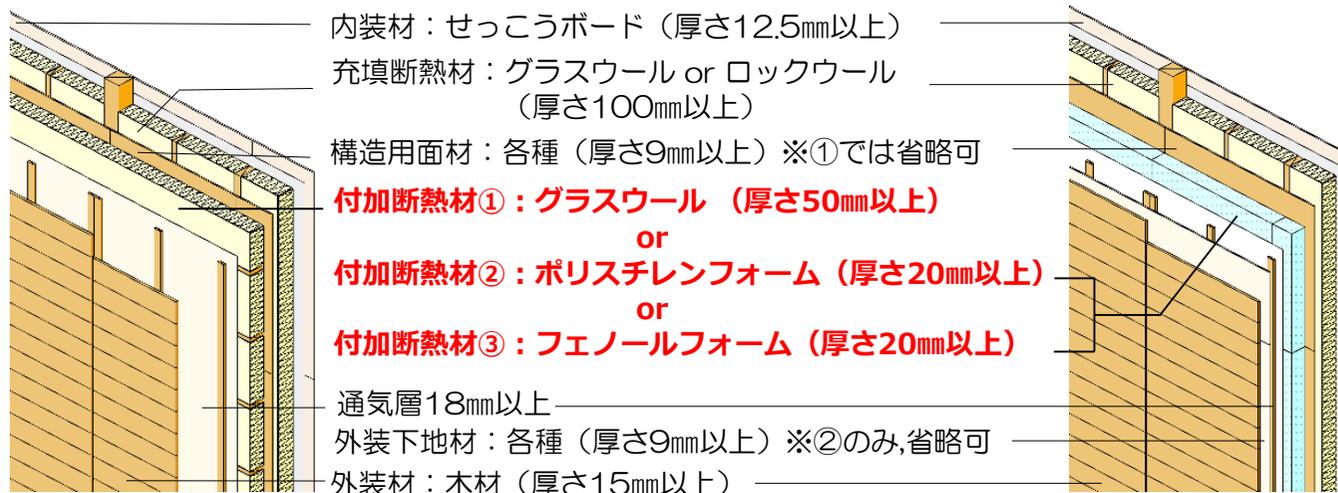
背景

- 北海道で普及する木造高断熱外壁は、高い断熱性を上手に生かせば、高い防火性を実現できます。
- 木材の外装材には強いニーズがありますが、建築基準法の防火規制により使用が制限されます。
- 木材を外装材に広く使ってもらうためには、外壁として建築基準法の大臣認定の取得が必要です。

成果

1

「防火構造」の大臣認定を取得できる木造高断熱外壁を3種類、開発しました。

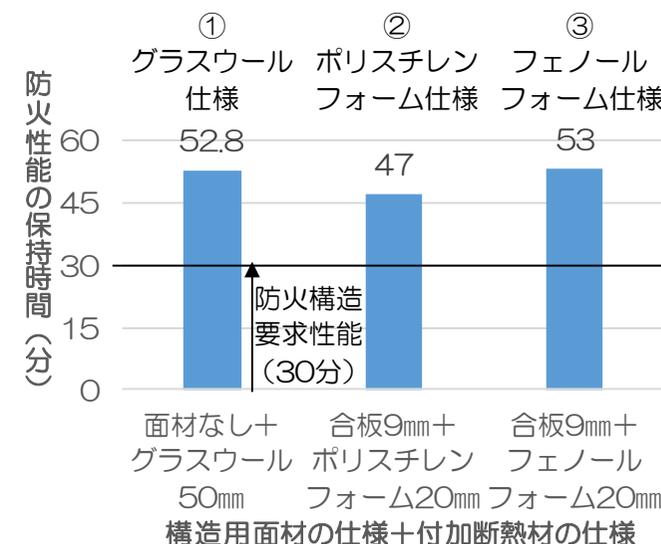


①グラスウール仕様
(ロックウールも使用可)

②ポリスチレンフォーム仕様
③フェノールフォーム仕様

2

開発した外壁は、いずれも十分な防火性能を持っています



期待される効果

- 大臣認定の取得により、魅力ある建築デザインの1つとして、道内の建築事業者を通じて広く普及が見込まれます。
- 建築物への道産木材の利用を促進し、北海道の森林資源の循環および地域産業の振興に貢献します。